



平成 28 年度看護力アップ講座 開催のご案内

わが国における高齢者人口は 2025 年にピークを迎えます。高齢者を支える労働人口は少子化にともなって減少し続けるため、今後の医療場面において医療従事者の確保は重大な課題です。しかし医療従事者総数の減少が予測されるなかにおいても医療の質を保つためには、限られた人員でも適切なチーム医療が提供できる環境の整備が必須です。さらに医療現場で連携の要となる看護職には、介護職員（看護補助者）をはじめとした多職種との連携は欠くことができません。また、看護師と多職種の連携による医療の推進は施設内だけでは終わりません。退院支援や訪問看護などの医療サービスで地域を支えるためにも看護職の力が必須です。

そこで今年度は「看護・介護の協働」と「地域医療を支える看護のポイント」の研修会を企画いたしました。業務多忙な看護師の皆様へのニーズに対応するべく、日程ごとに研修の内容を独立させました。全日程のご参加はもちろんのこと、1 日単位での参加も可能です。皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

日本慢性期医療協会 会長 武久洋三
看護委員会 委員長 進藤 晃

○プログラム○

平成 28 年 10 月 22 日 (土)

講義 看護・介護の協働がチーム医療の要 <看護補助加算該当研修> ※修了証発行

12:50~ 13:00	オリエンテーション 川添チエミ (嵯峨野病院在宅事業部長)
13:00~ 14:00	看護補助者 (介護職員) の活用に関する制度等の概要 安藝佐香江 (南多摩病院看護部長)
14:00~ 15:00	看護職員との連携と業務整理 齋藤あけみ (永生病院看護部長)
15:15~ 17:00	看護補助者の活用と支援 1 看護補助者 (介護職員) の育成・研修・能力評価 (演習を含む) 高橋陽子 (美原記念病院看護部長)
17:10~ 18:30	看護補助者の活用と支援 2 看護補助者 (介護職員) の雇用形態と処遇等 (演習を含む) 高橋陽子 (美原記念病院看護部長)

※10月22日の講義研修は、診療報酬上の看護補助加算の施設基準における研修に該当致します。

グループワーク

19:00~ 20:30	現場の抱える課題 ※希望者のみ。お食事 (弁当) を用意いたします。
-----------------	---------------------------------------

平成 28 年 10 月 23 日 (日)

講義 地域での医療と介護を支える看護のポイント ※修了証発行

9:30~ 9:40	オリエンテーション 川添チエミ (嵯峨野病院在宅事業部長)
9:40~ 10:40	これからの地域医療をどう展開するか 田野倉浩治 (永生病院事務部長)
10:50~ 11:50	回復期リハ病棟における看護の現状と今後の課題 梅崎亜希子 (光風園病院看護部長)
11:50~ 12:50	昼食休憩 お食事 (弁当) を用意いたします。
12:50~ 14:20	医療療養病棟における退院支援・看護師の役割 板越由香 (世田谷記念病院副看護部長)
14:30~ 15:30	訪問看護ステーションと医療機関の連携と実際 石坂洋子 (沼田訪問看護ステーション管理者)、森秀樹 (訪問看護ステーションゆうゆう所長)
15:30~ 16:00	まとめ 進行: 川添チエミ 嵯峨野病院在宅事業部長

開催概要及び参加申込は裏面をご参照ください。